

盛岡城跡公園芝生広場整備事業関係者懇話会委員発言要旨

委員名	委員発言要旨
<p>原孝 委員 (座長)</p>	<p>事業を進める上では、例えば歴史保存と事業開発など相対する事もあると思うが、互いの相乗効果をもたらし得るとも考えている。そのためにも、いろんな人達の意見やアイデアを寄せさせていただくべきと思う。この懇話会もそうしたものにしたい。一方、この懇話会だけでは、時間的、人的に限られたものなので、他にも様々な立場から可能な限りの議論が必要と思う。ここでは、時には対立もあるかもしれませんが。いろんな考えがあるかもしれませんが、そうした意見や議論の経験によってより良いもの、場を作ることと同時に、それが出来た後も、みんなに親しまれ、活用されるような事業になればと思ってる。</p> <p>議論の為には情報をお互い知りあうことも大事であるし、事務局には適切な情報を発信してほしい。マスコミの皆さんにも適切な情報を発信していただきたい。</p> <p>今回の良いものを作る、良い場を作る、同時に単に作るだけでなく、みんなで長い年月の中で育てていくものであります。今回の事業だけでなく、今回の経験自体が、今後の盛岡市のまちづくり、市政のあり方の糧となるような経験になればと思っている。</p>
<p>広田 純一 委員</p>	<p>人口増加の時代は、緑の量を増やすことが目的だったが、現在は増やした緑の維持管理が大きな課題となっている。小さな公園については、地元の自治会で作る公園愛護会による維持管理の手が回らない状況だし、大きな公園についても同様の問題がある。盛岡市では、こうした公園の利活用を図ることを目的として、6年ほど前から「公園活性化交流広場」を主催したり、「公園活性化プラン」を募集して、公園活用のアイデアを持った方々と一緒に公園の活用を図ってきた。その延長として、今回のPark-PFIの提案があると思っている。</p> <p>公園の新たな利活用に当たっては、その公園や周辺地域の価値を高める提案になっているかがポイントである。今回の盛岡城跡公園芝生広場は史跡としての価値があり、それを維持するのは当然であるが、あの場所に新たな価値をいかに与えられるか、周辺地域への波及効果をどれだけ見込めるかが重要だと考えている。</p> <p>今回の提案のコンセプトは、岩手・盛岡が誇る手仕事の価値に着目して、国内外の多様な生活文化の交流や創造を図ろうとするものであり、その手段としてショップ、カフェ、ギャラリーが計画されている。個人的には、今の公園や周辺地域に新しい価値を与える提案だと思っている。ただ、その趣旨や内容が市民に周知されていない印象があり、そこに不安を感じている。丁寧な説明が必要となるだろう。</p> <p>文化庁の文化審議会の委員をしているので、一つ情報提供させていただきたい。これまでは史跡等に指定されれば何も手をつけられないというイメージがあったと思うが、最近では文化財としての価値を保存しつつ、活用についても力を入れ始めている。現状変更を認めない凍結保存が必ずしも文化財の価値の保存に結びつかないという反省があるからだ。城跡公園や芝生広場のあり方を考える際にも、頭においていただければと思う。</p>
<p>佐藤 誠司 委員</p>	<p>歴史文化館をはじめ、芝生広場は、商工会議所で盛岡さんさ踊り、広域まるごとフェアを開催している重要なエリアとなっており、盛岡城跡公園芝生広場は地域の経済発展の核だと思っている。今回の計画は内心嬉しく思っているが、イメージがつかめていない。雇用は何人なのか、建物は複数なのか、状況が分からない。今回の資料に掲載すべきだ。</p> <p>芝生広場は、カナダのビクトリア市の姉妹都市提携の証としてビクトリアロードの整備、トーテムポールの設置をしているが、これらの歴史にかかるものをどのように扱っていくのか。盛岡芸妓後援会で中津川の見えるところに川床を設置する事業を行ったこともあり、これらのことも実施が可能な建物になれば使い勝手がいい。隣接するもりおか歴史文化館と並んで、盛岡のランドマークとなって欲しい。</p> <p>利便性を考えた場合交通を考えなければならない。でんでんむしを歴史文化館前まで通すとか。考慮に入れて欲しい。</p>

<p>豊岡 卓司 委員</p>	<p>盛岡城跡公園は自分が子どもの頃、非常に賑やかな場所だった。駄菓子屋などがあり、人の集う場所だったと記憶している。15年前くらいから、杜陵小学校では盛岡城跡公園に行く時、低学年は親と、中学年は子ども2～3人で、高学年になれば1人で行って良いと言われるような、非常に危険な場所となっていた。盛岡城跡公園は面白くない場所となっていた、という気がしている。この場所は、御先祖様からいただいた場所ではなく、未来の子孫から借りている場所だと思っている。肴町商店街も歴史的な建物があるが、この先未来の子どもたちにとって、何か良いものになるように、と、思って事業を考えている。盛岡城跡公園も御先祖様が立派に残してくださった史跡であり、守る事も大切だが、未来の子孫に対し、どのように楽しんでもらうか、どのように学んでもらうかという視点で考えていくべきだ。今回の事業を芝生広場で行うことは良いことだと感じている。様々な指摘があると思うが、子孫へ借りている土地を有効に活用していく、という視点で考えることが大事。</p>
<p>伊藤 淳之介 委員</p>	<p>豊岡委員の未来思考、未来から借りている土地、という考え方に非常に感銘を受けた。とはいえ、相当な思い入れをもっている方がいる場所であり、わたしも幼少期、非日常を感じながら遊んでいた場所。盛岡青年会議所は盛岡城跡公園に関して、特に色々な事業をやらせていただいております、言いたい事はいろいろある。一つ挙げるなら、この場所で、誰が何をするか、ということはいささか大きな問題ではなく気にしていないが、人々の日常がつけられる場所になるかどうか、重要だ。当たり前のようにその場所に行き、生活の一部にしていくことができるのかどうか、事業の中で実現されるような内容かどうか。</p> <p>この場所が近所に住む人、子どもたちにとって、生活の一部になっていることが理想。建築、景観との整合を取ることに繋がるため、事業者にも大切にして欲しいと思う。P-PFIは事業期間が長い。維持管理等を含め、長期間の設置を想定した事業にして欲しい。</p>
<p>勝部 民男 委員</p>	<p>建築士会全体の総意ではないかもしれないが、盛岡城跡のままでいいのか、石垣があるだけでいいのか、という考えがあった。盛岡駅から河南地区までを結びつけるものとして、盛岡城があると思う。歴史的な部分、開発的な部分もあるだろうが、盛岡城跡公園を活かす形にしなければならぬと思う、盛岡城復元の前に、いろいろと提案をし、市民の意見を伺おう、と考えていた。</p> <p>昨日のシンポジウムで、この方々なら間違いないと思い、また、夢も広がった。ただ、この夢が様々な課題につながっており、調和を図る必要がある。田んぼの提案もあったが、非常に面白いものになると思う。ビオトープとして活用する話もあったが、農業との関連もあり、原理主義に陥ることなく、周囲とのバランスが肝要だ。</p>
<p>木村 敦子 委員</p>	<p>普段はデザイナーの仕事で、「てくり」を編集しているが、盛岡市の方、場所を取材する中で、芝生広場の重要性を感じている。今回の事業決定にあたり、当然色々意見が出ていた。昨日のシンポジウムを聞いた方は、いろいろとなぞが解けたと思うが、聞いていなかった方はまだ不安な要素がたくさんあると思う。この場で昨日のシンポジウムの資料が配布されていたら良かった。来られなかった方は意見が言いづらいだろうと思う。</p> <p>一番の不安の原因は、分からないから。皆川さん、藤森さんがどういう方で、どんなことを考えているのかを知ることが、市民・懇話会委員にとって、あの場所をよりよく活用していくために必要。藤森さんが昨日、皆川さんのブランドの洋服は買わないため、男性は理解しづらいところがあるかも、とおっしゃっていたが、その点も知ることで解消できると思う。子どもたちとの交流、100歳までのスタッフ雇用による世代間の交流、バスセンター等の地域との連携、赤レンガ館との文化の発信地となることで、河南地区や周辺エリアの価値が上がると感じている。「ホホホの森」というコンセプトのもと、このエリアに本質的なものが集まり、市外からの人の流入があり、いい場所になるのではと期待している。</p> <p>発掘調査はされてきたのか。</p>

<p>金沢 滋 委員</p>	<p>15, 6年前に高齢化が進む松園の公園を生き返らせるために市や地元の方々とワークショップを行った。地域の中でも「公園はいらない」「雑草を取るのが嫌」と反対される方がすごく多かった。しかし、20回ワークショップを重ねる中で、反対だった方もコミュニティができた。最後はみんなで一日のうちに公園をガラッと変えた。今でも和やかでいい公園である。このような公園を10以上作った。藤森さん、皆川さんも作って終わりではない、建築はみんなで作ること、手仕事ができる、参加できるとおっしゃっていた。市民が参加する、ということ盛岡城跡公園で出来ればとても素晴らしいことだ。 何がつくれるのか、ということも大切だが、そのプロセスがとても大事。芝生広場をみんなのものにするには、皆さんが意見をあげることが大切なのでは、と改めて思った。</p>
	<p>都市公園と文化財、経済の波及効果に対する市民の意見がこの事業のプロセスに関わって複雑化している。市民への情報提供の少なさが話をややこしくしている。更に実施主体がどうであるかということに関しても議論が別にある。事務局で整理して説明してもらえれば次回の会議も有効になると思う。</p>
<p>鎌田 英樹 委員</p>	<p>まず、図面を見て事業範囲が広いなということに驚きました。 ここ（芝生広場）は、史跡の指定が無いといいことを始めて知った。盛岡城跡公園は全部一体として思っており、史跡の指定だからという目では一切見ていない。 国際交流協会の立場でいうと、このエリアは盛岡とビクトリア両市の市民の交流の象徴の場であり、ビクトリアロード、友情とはという碑文、トーテムポール等があり、一つの文化を作ってきたのは確かであると思っている、 その部分で変えていくのであれば、どれだけのメリットがあるのかというのを具体的に出していかないと、イメージができない。 事業者が、どれだけの規模・建物でそれを明示していただかないと、判断できないし、カフェとか具体的な施設をこういふことで考えているということを書いていただく方が早いと思う。国際交流の意義が若干薄れないかと思っている。</p>
	<p>イメージだけで会話をしても何も進まないと思う。 事業者がやりたいこと、具体的に説明し、熱い想いを語ってもらえれば、理解も深まり、お願いしようかと思えるのではないか。</p>
<p>谷藤 喜美男 委員</p>	<p>9/15の夜に大通で山車大絵巻パレードがあり、この場所に例年山車を8台9台入れて、観光客等に見ていただく場所であり、歴史文化館前で出発式を行っている。 この場所には山車が置けるか、この場所から出発式ができるかを、懇話会で話を聞き、今後を考えることとしている。 今年9月のお祭りに使えるのか。 資料には公園のトイレの再整備の話もあり、そこも含めて、今後、このお城の景観に合うような整備が出来ていければ、事業に反対だとか、建物を建てるのが反対だとかというのではなく、加味していただければ、多いに賛成なことであります。</p>
	<p>城跡公園に魅力のあるものがあるかどうかの方が大事。 ミナがお城を復元するといったら誰もが賛成するでしょう。雇用を生む。物販で利益も生む。この場所にこれが必要だというものをやってもらいたい。</p>
<p>畑中 美耶子 委員</p>	<p>隣に何ができるかというのは、軽視できなくて、これは、しっかりと聞かせていただかないと思った。 先ほど、講演を聴いていないと不安ではないかとの話がありましたが、本当に不安です。 伝え聞いたところでは、田んぼができる。歴史文化館として歴史の博物館的な要素をもっているの、虫が沢山寄ってきては困る。 来年は、ビクトリアとの姉妹都市35周年です。カナダからお客様が来ます。そのときにあのトーテムポールや、記念樹のメイプルツリーは毎年紅葉を楽しませてくれているのに、どこに行くのだろうか、川から石垣までの景観は、途中で建物があっては見えなくなってしまうのではないかと、いろいろ考えてします。とにかく、具体的なものは、何にも見えなくて、伝えられるのは、たんぼできるそうだとか、カフェが近代的なものだとか、そういうことだけで事業が進められては納得いきません。 もっと、中身を明示して市民がわかるように説明して欲しい。ただ意見は聞きました。みんなの総意ですよでは困る。</p>

	<p>ヒマラヤシーダーを伐採した際には、でんでんむしが入れるようにしようとしたが、警察協議で許可されなかった。今でも修学旅行生が入ると大変な状況なので、交通の問題は重要。芝生広場は三陸屋台村でも使っており、それが出来なくなると大変だ。人の流れもどうするつもりなのか。反対ではないが不安である。</p>
<p>吉田 莞爾 委員 代理 中村</p>	<p>日頃、吉田理事長は、大通商店街の価値が下がらないよう、端的に言えば地価が下がらないようにするのが私の仕事だといっている。私も事務局の長としての立場での責任を言うと、大通の通行量を上げること、人通りを増やすことが究極の仕事だと思っている。</p> <p>この話を聞いた当初から、交流人口が増える良い話だと思っていたが、他の委員からも話があったように、詳しい概要がうまく伝わっていない中で、一部の否定的な情報が独り歩きしている感じもあり、難しい問題になっているなど思っている。</p> <p>まずは、皆川さんや藤森先生がどういった方なのか、今までどのような仕事をしてきたのか、可能であれば委員が直接話を聞く機会を設けるべき。それが難しければ資料として出して、広く市民の方にも知ってもらいたい。</p> <p>個人的には、この事業が盛岡城跡公園の中で実施されることは、盛岡市の中心市街地の価値を高めるものであると思っている。</p> <p>これまで城下町としての特色を活かしたまちづくりをしてきたのか疑問に思っている。会津では価値のあるものを手を加え観光客に喜ばれるように取組んでいる。この事業をきっかけに、盛岡市のまちづくり、中心部をどうするのかというところまで拮がっていければいいと考えている。</p>
<p>本行 委員 坂 広 委 員</p>	<p>盛岡城は南部家の居城であり、藩主の仕事場でもあった。明治になって、市民行楽の場として岩手公園として開園した。盛岡城公園が静かだという印象があると思うが、以前、動物園があったり、広場のところで闘犬があったりして人が集まっていた印象があった。</p> <p>昭和46年ころに、盛岡城を造るのか、またはそのまま市民の広場で楽しめる場がいいのかという議論があった。6割の方が盛岡城を造ることに反対した。その後人が行かなくなったような気が私はする。</p> <p>公園には四季の匂いがあった。春は花見、夏は盆踊り、秋は落ち葉を焼く匂いあって、冬には雪合戦やそり遊びがあった。その中で、もりおか歴史文化館が出来て、賑わいができたなどというような気がしている、このPark-PFIで、もっと賑やかになるのではと思っている。</p> <p>本日、昨日の藤森さんの講演会の資料が出てくると思っていたので、非常に残念であった。歴史文化館が出来るときにヒマラヤスギの伐採、それ以前に内丸地区の再開発の問題がありました。市で何かをすると情報不足があると思う。その情報不足で市民がこういう風にしようと思っても、反対に回ってしまうことがあるので、全ての情報は出せないと思うが、丁寧に委員会や市民に説明していただきたい。できるだけ出せる情報は開示していただきたい。まだまだ、この事業の話し合いが持たれると聞いておりますので、期待しています。</p> <p>市民にとっても大切な事だし感心も高い。 公園の中での史跡の範囲など重要な部分のわかりやすい説明が必要。ちょっとした説明不足で違う方向に行ってしまうので、当局として大切に扱って欲しい。</p>
<p>平井 興太郎 委員</p>	<p>この界限には、お城の近くということもあり啄木賢治記念館や岩手銀行の赤レンガ館等古からの歴史のある建物が多い。昔からの市域で観光客も多く、公園の再整備として新しく建物が計画されていることは大変いいことと思う。</p> <p>芝生広場の再整備で建物を建てることは賛成だが、城跡公園ということもあり、周辺と整合するものを希望します。</p> <p>有名な建築家ですが、奇抜なものはお城に合わないと思う。</p>
<p>佐々木 祐輔 委員</p>	<p>この事業で岩手公園の魅力のひとつとなればと思う。</p> <p>バスセンターを基点にして、肴町、中ノ橋、内丸地区の賑わいを復活したい。</p> <p>子どもの頃は弁当を持って遊びに行ったりしていたが、最近さびしくなったと感じています。</p> <p>有名な建築家が景観に配慮した建物を立ててくれるとのことだが、今までにないものが建つのではと期待しています。建物が出来れば明るくなるし、人の往来が多くなれば防犯上も安心。毘沙門橋までは子ども達が通学で通るので、少しでも明るくなれば、下校時に安心して通れるようになると思う。</p> <p>市民には丁寧に情報発信し、多くの市民から支持を得られるような努力をして欲しい。</p> <p>市長からもメッセージを出してもらえれば広く市民からも支持を得られるのではないかと思います。</p>

<p>畑中 良夫 委員</p>	<p>なぜこの場所でこの事業をやらなければならないかの説明がない。 都市公園法が改正され制度ができたので、市で公募して事業者を選定しただけのように受け止めている。この事業を進める進めないではなく、進めるとすればこの事業者だということか。</p> <p>史跡については、保存管理計画等作成された計画があるが、芝生広場については整備計画がない。都市公園として岩手公園をどうしたいのかの全体的な位置付けの中で芝生広場をどうして行くのか基本的な考えがなければならない。史跡の追加指定もありうる。市としてそのような懸念を排除してから事業を進めるべき。</p> <p>3月に事業者決定で8月工事着手とあるが、それではいつ市民合意を得ようとしていたのか。市民意見の聴取が、進め方のおり短期間で出来るのか。</p> <p>市民へ懇話会の要旨を出すには、委員から内容確認をもらう必要がある。この短い時間で整理が出来るのか。</p> <p>HPで公表したとしても市民がHPをどの程度見ているのか。市民合意の形成について慎重に扱うべき。</p>
	<p>そもそも公園として全体をどうしたいのかの中での位置付けがあって初めて事業しようということにならないと、事業の出発が逆。市民の合意をどう取ろうとしているのか。</p> <p>高さ3mに押さえるとの説明があったが、石垣を仰ぎ見ることになることから、実際に城跡整備基本計画にある視点場を無視することにならないか。史跡に対する計画に対して今回の事業については非常に矛盾を感じている。</p>
<p>石川晃 委員</p>	<p>新しい施設が整備されることにとても期待している。 芝生広場だけではなく、中津川との関係も大事だと考える。史跡と中津川の両方に囲まれた場所にあるので、その両方が楽しめるような位置に施設が立地すれば、相乗効果でとても良いと思う。</p> <p>盛岡城跡公園と中津川の挟まれたこの場所は、市のシンボル中のシンボルのような場所である。応援したいし実現して欲しい。</p> <p>中津川は、国土交通省がミズベリング等、川を使ったまちづくりを積極的に進めており連携することもできるのではないかと思う。</p> <p>新しい施設には、夏は川で遊んでいる子ども達にかき氷やジュースなどと販売したり、紅葉の時期は散策している人に暖かいコーヒーを出すなど、テイクアウトもできるカフェを作るも良い。また、市民や市民団体との協働もポイントになると思う。整備するまでもそうであるし、施設を整備完了後も市民が関わっていくことが良い。盛岡には、色々な市民団体が活動しているが、新しい施設ではその団体が活動ができたり、イベントを行うことができる交流機能を有するものとする、空間としての動きを生み出すことができると思う。</p> <p>個人的には、中津川の美しい水面を見ながら、朝ごはんを食べたいなと思っている。何かワクワクするような場所になって欲しい。</p>